



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月9日

上場会社名 株式会社東葛ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2754 URL http://www.tkhd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 俊之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 高橋 輝 TEL 047-346-1190  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,270	△17.5	161	△25.2	170	△24.5	106	△25.5
2020年3月期第2四半期	3,963	10.7	215	23.9	225	23.8	143	25.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 106百万円 (△25.5%) 2020年3月期第2四半期 143百万円 (25.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	22.06	21.27
2020年3月期第2四半期	29.61	28.65

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,575	4,475	67.4
2020年3月期	6,354	4,411	68.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,431百万円 2020年3月期 4,373百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2021年3月期配当予想につきましては、本日 (2020年11月9日) 公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,264	0.0	352	0.7	371	0.0	234	0.0	48.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2021年3月期通期連結業績予想につきましては、本日 (2020年11月9日) 公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	4,840,000株	2020年3月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,701株	2020年3月期	1,701株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	4,838,299株	2020年3月期2Q	4,838,299株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する目的から発出された緊急事態宣言により経済活動が停滞、宣言解除後より感染拡大を抑制しつつ経済活動を再開するなか、生産活動や個人消費を中心に緩やかに持ち直しの動きをみせながら推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、登録車(普通自動車)、届出車(軽自動車)ともに、新型コロナの影響による所得や雇用環境の不透明感を背景にした節約意識の高まりに加え、前年の消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、当第2四半期連結累計期間の国内新車販売台数は2,028,541台(登録車(普通自動車)・届出車(軽自動車)の合計。前年同四半期比22.6%減)と前年同四半期に比べて大幅に減少しました。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

当社グループの自動車販売につきましても、上記と同様の状況から新車の販売台数は925台(前年同四半期比21.3%減)、中古車の販売台数は728台(前年同四半期比16.4%減。内訳:小売台数355台(前年同四半期比11.7%減)、卸売台数373台(前年同四半期比20.5%減))と大幅に減少しました。販売台数の減少により登録受取手数料等の手数料収入はもとより、整備業務を行うサービス売上についても上記の影響により整備台数が減少したことから売上高は3,221百万円(前年同四半期比17.6%減)となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業において、緊急事態宣言の発出により、店舗が出店しているテナントの営業時間の短縮及び入店人数の制限、宣伝広告の自粛等により保険契約件数が減少したこと等から売上高は49百万円(前年同四半期比6.6%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は3,270百万円(前年同四半期比17.5%減)となり、営業利益は161百万円(前年同四半期比25.2%減)、経常利益は170百万円(前年同四半期比24.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は106百万円(前年同四半期比25.5%減)となりました。

これは、主に中核事業である自動車販売関連事業の売上高が、前年同四半期に比べて大幅に減少したことによるものです。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は3,101百万円となり、前連結会計年度末に比べて156百万円増加いたしました。これは現金及び預金が219百万円、受取手形及び売掛金が30百万円それぞれ増加、商品及び製品が75百万円、その他の流動資産が18百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は3,473百万円となり、前連結会計年度末に比べて64百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が65百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は6,575百万円となり、前連結会計年度末に比べて220百万円増加いたしました。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は1,827百万円となり、前連結会計年度末に比べて130百万円増加いたしました。これは主に買掛金が32百万円、短期借入金が74百万円、その他の流動負債が36百万円それぞれ増加、未払法人税等が9百万円減少したことによるものです。固定負債は273百万円となり、前連結会計年度末に比べて26百万円増加いたしました。これはその他の固定負債が26百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は2,100百万円となり、前連結会計年度末に比べて156百万円増加いたしました。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は4,475百万円となり、前連結会計年度末に比べて63百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益106百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は67.4%(前連結会計年度末は68.8%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ219百万円増加し、当四半期連結会計期間末には1,620百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は314百万円(前年同四半期は81百万円の獲得)となりました。これは税金等調整前四半期純利益170百万円から主に減価償却費53百万円、売上債権の減少額31百万円、たな卸資産の減少額77百万円、仕入債務の増加額32百万円、その他の資産の減少額19百万円及び法人税等の支払額72百万円等を調整したものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は120百万円(前年同四半期は211百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出120百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は26百万円(前年同四半期は236百万円の使用)となりました。これは借入金による収入74百万円、配当金の支払額48百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、適正かつ合理的な算出が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報等に基づき算定いたしました。詳細につきましては、2020年11月9日に公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,400,637	1,620,629
受取手形及び売掛金	970,831	1,001,269
商品及び製品	454,756	379,260
その他	119,496	100,579
流動資産合計	2,945,721	3,101,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	448,276	431,520
機械装置及び運搬具(純額)	205,733	168,326
土地	2,420,008	2,420,008
建設仮勘定	119,843	239,718
その他(純額)	4,465	4,381
有形固定資産合計	3,198,327	3,263,955
無形固定資産	116	0
投資その他の資産	210,802	209,914
固定資産合計	3,409,246	3,473,869
資産合計	6,354,967	6,575,609
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	428,292	460,600
短期借入金	786,400	861,002
未払法人税等	59,240	50,118
賞与引当金	48,930	44,542
その他	374,089	410,751
流動負債合計	1,696,954	1,827,015
固定負債		
その他	246,604	273,344
固定負債合計	246,604	273,344
負債合計	1,943,558	2,100,359
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	211,085	211,085
資本剰余金	200,496	200,496
利益剰余金	3,962,406	4,020,733
自己株式	△673	△673
株主資本合計	4,373,315	4,431,641
新株予約権	38,093	43,607
純資産合計	4,411,408	4,475,249
負債純資産合計	6,354,967	6,575,609

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,963,561	3,270,716
売上原価	3,096,376	2,495,912
売上総利益	867,184	774,804
販売費及び一般管理費	651,742	613,742
営業利益	215,442	161,062
営業外収益		
受取利息	472	385
受取手数料	9,660	5,992
補助金収入	—	2,960
その他	2,599	2,266
営業外収益合計	12,732	11,604
営業外費用		
支払利息	2,744	2,393
その他	0	0
営業外費用合計	2,744	2,394
経常利益	225,430	170,272
税金等調整前四半期純利益	225,430	170,272
法人税等	82,147	63,562
四半期純利益	143,283	106,709
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,283	106,709

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	143,283	106,709
四半期包括利益	143,283	106,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,283	106,709
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	225,430	170,272
減価償却費	53,556	53,585
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,497	△4,388
株式報酬費用	5,487	5,513
受取利息及び受取配当金	△472	△385
支払利息	2,744	2,393
売上債権の増減額(△は増加)	△24,225	31,110
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,597	77,248
仕入債務の増減額(△は減少)	△76,932	32,307
その他の資産の増減額(△は増加)	15,933	19,866
その他の負債の増減額(△は減少)	△53,640	1,962
小計	156,981	389,488
利息及び配当金の受取額	29	29
利息の支払額	△2,689	△2,436
法人税等の支払額	△73,153	△72,774
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>81,168</b>	<b>314,306</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△216,813	△120,849
貸付金の回収による収入	5,364	5,364
差入保証金の差入による支出	△278	△5,354
差入保証金の回収による収入	275	305
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△211,453</b>	<b>△120,533</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△163,172	74,602
長期借入金の返済による支出	△25,002	—
配当金の支払額	△48,382	△48,382
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△236,557</b>	<b>26,219</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△366,842	219,992
現金及び現金同等物の期首残高	1,975,522	1,400,637
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,608,680	1,620,629

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

現時点で新型コロナウイルス感染症の拡大規模や収束時期等の合理的な予測は困難ですが、当社グループは入手できる情報を踏まえて翌連結会計年度にかけて業績は回復していくものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	自動車販売		
売上高			
外部顧客への売上高	3,910,925	52,636	3,963,561
セグメント間の内部売上高又は振替高	130	88,044	88,174
計	3,911,055	140,680	4,051,735
セグメント利益	300,160	17,373	317,533

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	300,160
「その他」の区分の利益	17,373
全社費用(注)	△102,091
四半期連結損益計算書の営業利益	215,442

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	自動車販売		
売上高			
外部顧客への売上高	3,221,569	49,147	3,270,716
セグメント間の内部売上高又は振替高	81	62,621	62,702
計	3,221,651	111,768	3,333,419
セグメント利益	242,058	10,662	252,720

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	242,058
「その他」の区分の利益	10,662
全社費用(注)	△91,658
四半期連結損益計算書の営業利益	161,062

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。